

工事タイムス

■早まつた工事 目下日比谷公園内に、故安田翁の寄附金二百五十萬圓を以て清水組の手で工事中の東京市政調査會館は、無認可の故を以て中止を命ぜらるゝやの噂あり、延いては同會館建設不能の形勢すら惹起せんとしてゐる。

■當局意見の不一致 同工事認可申請書は昨年十月提出され、既に七ヶ月にもなるので、市政調査會では黙過されたものとして工事を進めたらしく、一方内務省では湖地方局長は賛成なるも、警保局が取締上の立場より反對なので、何時解決がつくとも見えない。

■六大都市 の中央市場設立計劃何れも抄々しく進まない、京都は他に比較して最も進捗し八月頃には竣成の見込、大阪はまだ敷地が明かでない、神戸は敷地が未決定、東京は秋葉原と本所横綱とは設計が完了したが築地は用地未解決、横濱は山内町一萬五千坪に工事着手した、名古屋は漸く市會の決議を経て商工省に開設認可の申請をする筈。

■本建築始まる 東京、横濱の復興建築會社の第一回貸附割當は五月中に全部確定、既に著工した分は日本橋、下谷、深川、麴町四區五十三戸、總建坪一萬六百九十坪、建築費總額三百六十九萬五千圓、貸附金額二百五十八萬六千圓。横濱市の方は二百十七坪の建築費總額八萬四千圓、貸附額五萬五千圓。

■銀座に共同建築 最初日比谷の三角地帯に實施する筈だつた共同建築は、地元有志の骨折で遠からず銀座に實現されやう、殊によると萬世橋附近の方が一足先に出來上るらしい。

■體育館 東京基督教青年會では神田美土代町に工費 160萬圓の新會館建設の準備中であるが 100萬圓は米國有志の寄附で残りの60萬圓を目下日本に於て募集中である。此新會館に20萬圓の工費で今年内に體育館が出來る豫定である。

—橋 梁—

■大阪八十八橋架替 大阪市では關東大震災に鑑みて全市六百餘橋中まづ八十八橋を改造する。其内四ツ橋は來年二月末竣工、長十三間、巾十五間、工費十七萬圓。本年十月末竣工豫定の末吉橋は長二廿四間、幅員十五間の鐵筋コンクリート橋、工費三十一萬圓。

■大阪堂島大橋 來年三月末竣工豫定の同橋は工費約四十五萬圓、巾十二間、長さ四十二間の大橋であるが、あれだけ廣い川に橋脚が岸近く唯二つ、中央徑間は釣橋式の新月型である。

■八重洲橋工を急ぐ 東京驛東口と横町線を連絡する同橋は一昨年未起工、本年六月竣工の豫定だつたが、城邊河岸の民家三戸が移轉しないので工事中止の状態にあつたが、近々強制執行して工を急ぐ事になり、今秋までに竣工の豫定。

■酒匂橋竣工 國道第一號線に當る神奈川縣酒匂橋は此程竣成、五月二十一日内相代理其他參列、盛大な竣功式を舉行した、同橋は全長 197間、幅員26尺 總工費 320,606圓。

—道 路—

■坪三千二百圓也 東京驛前の行幸道路は長さ百二十間、巾四十間、工費百萬圓の豫算で十三年九月起工、本年七月竣工の筈だが、お濠を埋めた巾四十間、長さ四十間に總工費の半分がゝつてゐる、即坪三千二百圓也。

■伊太利ミラン に開催の第五回國際會議に於て附議せらるゝ議題は、一コンクリート道路、二レキセイ及びアスファルト道路、三道路材料の標準試験の件、四交通調査の件、五交通上の都市計劃、六自働車専用道路等にして各國より夫々面白き研究を發表せらるべく、旁々ミランにて道路博覽會も開催され、近代的の道路問題に關する各種統計調査等注目値する。

■臺灣の新工事 前議會を通過した總督府の土木諸事業中、道路橋梁及隧道事業は特に重大で、武官總督時代に開設した基隆高雄間の大道路が著しく荒廢したので、來年度より十年計畫で着手することになつた。

—都 市—

■東京市工事費 市が本年度に施行すべき事業中、工費三千圓以上のものは總件數1648. 總工費98,573, 330圓である。

■新宮水道敷設 和歌山縣新宮町の上水道敷設計畫は近く主務省に認可を申請、着手の筈であるが、總工費六十萬圓の豫算である。

■消火栓檢好成績 東京市では從來の路面式消火栓



新任鐵道大臣

井上 匡 四 郎 子

Vis. K. Inouye,  
New Minister of Railways.